「世界の補聴器市場2022年－2031年：製品タイプ別（耳かけ型、耳あな型、その他）、年齢別（成人、小児）」調査レポート（市場規模・動向・予測）を取り扱い開始しました

2022年11月7日
株式会社マーケットリサーチセンター

株式会社マーケットリサーチセンター（本社：東京都港区、世界の市場調査資料販売）では、「世界の補聴器市場2022年－2031年：製品タイプ別（耳かけ型、耳あな型、その他）、年齢別（成人、小児）」調査資料の販売を2022年11月7日
に開始いたしました。補聴器市場規模、動向、予測、関連企業の情報などが盛り込まれています。

■レポートの種類：グローバル市場調査レポート
■レポートのタイトル：世界の補聴器市場2022年－2031年：製品タイプ別（耳かけ型、耳あな型、その他）、年齢別（成人、小児）
■英文タイトル：Hearing Aids Market （Product Type: Behind the-ear, In-the-ear, and Others; and Age: Adult and Pediatric） - Global Industry Analysis, Size, Share, Growth, Trends, and Forecast, 2022-2031
■発刊日：2022年11月2日
■出版社：Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）
■レポート形態：PDF（Eメールによる納品）

■主な掲載内容
補聴器は、音波を増幅し、さらに雑音をキャンセルするために使用される機器です。補聴器は、聴覚に障害を持つ人の聴力を向上させるために使用される機器です。補聴器には、さまざまなサイズや形状のものがあります。耳かけ型（BTE）、耳あな型（RITE）、耳かけ型（ITE）などの見えない補聴器、カナル型補聴器（ITC、CIC、IIC）などが基本的な補聴器です。補聴器は、アナログまたはデジタルのプラットフォームから電源が供給されます。

発展途上国や低開発国における聴覚障害の有病率は、初等・中等教育段階でのタイムリーな診断の欠如、熟練した専門家の不足、補聴器に手が届かない、平均的な医療制度、個人の不衛生＆過密、医療施設やその他の介入へのアクセスの低下、聴覚障害に取り組む国全体の不適切＆不十分な計画、不適切な資源配分が原因で上昇しています。

高齢者層は難聴になるリスクが高い層です。65歳以上の人口の3分の1が難聴に苦しんでいます。世界保健機関（WHO）によると、全世界で15億人以上の人々が難聴に苦しんでいます。この数は、2030年までに25億人以上に増加する可能性があります。発展途上国や低開発国は、難聴の影響を強く受けています。難聴の有病率は、南アジア太平洋地域とサハラ砂漠以南のアフリカで高く、認知度の低さは、発展途上国や低開発国における難聴の高い有病率の主な要因です。したがって、高齢者人口の増加と聴覚障害の有病率の上昇は、補聴器の世界市場の成長を増大させます。

聴覚障害は、世界中で最も普及している慢性疾患の1つです。WHOの報告書（2022年）によると、世界人口のうち約15億人が難聴に苦しんでいます。世界では、約10億人の若者（12歳から35歳）が、娯楽で大きな音にさらされることにより、難聴になるリスクに直面していると言われています。補聴器の使用には、手頃な価格のものがないことが影響しています。聴覚障害の有病率は、地域の国民総所得が減少するにつれて指数関数的に増加します。報告書によると、西太平洋、アフリカ、東南アジア、環太平洋のいくつかの発展途上地域などの地域の人口は、慢性的な耳の感染症の負担の90％を占めているとのことです。慢性的な耳の感染症は、発展途上国における難聴の主な原因の一つとなっています。

製品タイプ別に見ると、耳かけ型はRIC（Receiver-in-canal）とカスタムフィットイヤモールドに二分されます。2021年の補聴器世界市場シェアは、ビハインドイヤー型セグメントが最大でした。この傾向は予測期間を通して続くと思われます。これは、耳の後ろに補聴器を装着することによる様々な利点に起因すると考えられます。例えば、より大きな電池は、より高い増幅とより長い電池寿命を提供します。耳かけ型補聴器はより大きく、指向性マイクやテレコイル、ブルートゥースなど、より多くの機能を搭載することが可能です。耳かけ型補聴器は、小型補聴器に比べケースが大きいため、電池交換や掃除がしやすく、手先が不器用な方でも簡単に扱える。これらの要因が、予測期間中、耳かけ型補聴器市場を拡大させると思われます。

年齢別では、2021年の補聴器世界市場において成人セグメントが最大のシェアを占めています。これは、発展途上国や低開発国における聴覚障害の高い有病率に起因しています。聴覚障害の負担は、それを治療するための利用可能なリソースよりも比較的高いです。世界保健機関（2022年）によると、聴覚障害の有病率は子供よりも大人で高いです。例えば、10億人以上の若年層が、安全でない聞き方により、永久的で回避可能な難聴になる危険にさらされています。

販売チャネル別では、2021年の世界市場で病院・診療所セグメントが大きなシェアを占めています。入院期間の長さが、予測期間中に同セグメントを牽引すると予測されます。2018年11月8日 に国立医学図書館がオンライン公開した論文によると、未治療の難聴の参加者は、2年、5年、10年の期間において難聴でない人と比較して有意に長い入院期間を経験したとのことです。さらに、未治療の難聴の参加者は、2年、5年、10年の期間で入院日数が0.26日、2.10日多く、平均して入院日数が多かった。

補聴器の世界市場の傾向として、欧州は主要企業の強力な販売チャネルが存在するため、予測期間中に市場を支配する可能性が高いです。2021年の世界市場では、北米が第2位のシェアを占めています。米国における市場の拡大は、確立された医療インフラの存在、国民の高い購買力、さまざまなタイプの補聴器に対する大きな需要と受容に起因していると考えられます。アジア太平洋

地域の市場は、予測期間中に急速な成長を遂げると予想されています。アジアは人口密度が最も高い大陸であり、難聴者の数が最も多い大陸でもあります。

■レポートの詳細内容はこちら
https://www.marketresearch.co.jp/data1/hearing-aids-market-product-type-behind-the-ear-in-the-ear-and-others/

■レポートに関するお問い合わせ・お申込みはこちら
https://www.marketresearch.co.jp/contacts/

■調査会社Transparency Market Research（トランスペアレンシーマーケットリサーチ）について
https://www.marketresearch.co.jp/Transparency－Market－Research/
株式会社マーケットリサーチセンターはTransparency Market Researchの日本での正規販売代理店です。

■株式会社マーケットリサーチセンターについて
https://www.marketresearch.co.jp/
主な事業内容：市場調査レポート販売、市場調査サービス提供
本社住所：〒105－0004 東京都港区新橋1－18－21
TEL：03－6161－6097 FAX：03－6869－4797
マーケティング担当 marketing@marketresearch.co.jp

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com